

新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙1503番地166

Tel 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

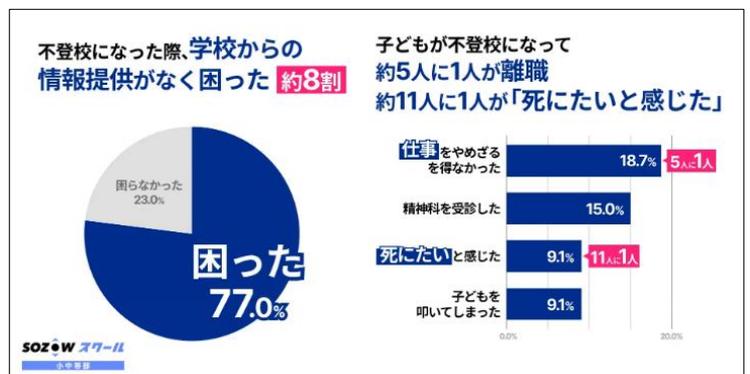
NO. 87 2024. 12. 13

県の教育課題解決をめざして～「はつらつ体験塾」でリアルを学ぶ～

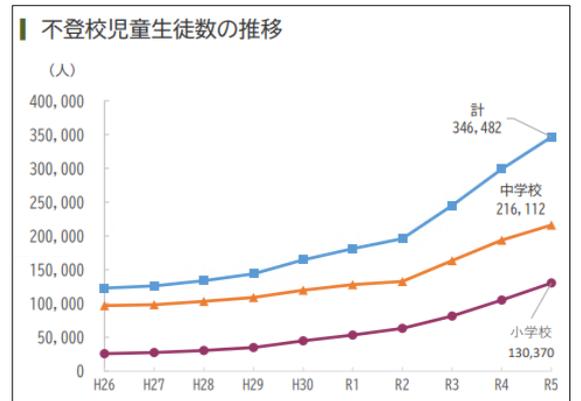
所長 伊藤 彰

新潟日報の社会面に、10月27日（日）は「子どもが不登校 保護者2割離職」、11月1日（金）には「不登校 県内小中 5617人」とショッキングな見出しが続きました。

前者は、オンラインフリースクール「SOZOW スクール小中等部」が、在籍する小学4年生から中学3年生の保護者に実施したアンケートの結果によるものです。教育機会確保法第13条では、国及び地方公共団体は学校以外の場での多様な適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の休養の必要性を踏まえ、不登校児童生徒等に対する情報の提供等の支援に必要な措置を講ずるものとされています。しかし現状は、不登校の子供を抱える保護者の中には困難を感じている場合が少なくないことがわかります。不登校の子供一人一人に合った居場所・学習環境を十分に確保することが重要であると同時に、決して保護者を孤立させることなく適切に支援していく視点が求められています。



後者は、文部科学省の「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果によるものです。右図のとおり、全国の小中学校で30日以上欠席した不登校児童生徒数は、最多を更新し続けています。近年は、SNSやインターネットが子供たちの生活リズムを乱したり、学校に行く意欲を失わせたりしているとの指摘があります。



毎日の長時間のネットコミュニケーションは、友達との人間関係を悪化させるという報告もあります。下の□に示したドイツの哲学者ショーペンハウアーの「ハリネズミのジレンマ」という寓話をご存じでしょうか。

寒い冬の夜に、2匹のハリネズミがいました。2匹の距離が離れていると非常に寒く、寄り添うと互いの針が刺さってしまい痛いのです。それでも寒いからといってさらに近寄ると、血が出てしまいます。近づいたり、離れたりを繰り返し、最後は針も刺さらず、温かく心地よい距離を見つけました。



親しくなるためには近づくことが絶対に必要ですが、(際限なくスマホ等を利用することにより)心理的距離が近くなりすぎると極度の緊張感が生じ、(既読無視を責めるなど)反発が起きることがあるという人間関係づくりの難しさを表しています。それぞれの相手との最適な距離感を見つけ、よりよい人間関係を築くためには、やはりいろいろな人と交流し試行錯誤を繰り返す経験を重ねるしかありません。令和の時代にあっても、対面で過ごすリアルの時間を大切にしたいと思います。

当自然の家では、平成9年から不登校の子供と保護者を対象に「はつらつ体験塾」を実施しています。今年度は1月中旬のキャンプのみとなりましたが、「楽しく人間関係づくりを学びたい!」「誰かとつながりたい!」といった願いにお応えさせていただきます。希望をもって一步踏み出したいと願う子供たちと保護者の方々に、ぜひともご紹介いただきますようお願い申し上げます。

令和6年度 主催事業の様子(4月～11月)

<利用団体引率指導者研修会>

4月25日(木)、5月14日(火)、5月16日(木)、6月24日(月)の4回、午前は野外炊さん、野外ゲーム、キャンプ・キャンドルファイアのプログラム研修、午後はカヌー研修、調整会議の研修会を実施しました。プログラム研修は、参加者の研修意欲の高さに驚かされました。

実際に現場で研修することにより実際の指導にかなり役立ったという声を多く聞くことができました。午後のカヌー研修、調整会議も団体同士の方で真剣に調整を進め、細部にわたる質問を多くいただくことができました。



☆参加者の声☆

- ・事前に計画の調整をいただき、利用日が同じ学校と打合せ、不安を解消することができました。
- ・他団体の方々も所員の方も、丁寧でとても検討しやすく、プログラムを作成することができました。

<つながろう！五頭・胎内チャレンジキャンプ>

9月14日(土)～9月16日(月・祝)にかけて、「新潟県少年自然の家」と「阿賀野市 五頭連峰少年自然の家」で小学4年生～中学3年生の28名が様々な自然体験活動を行いました。新潟県少年自然の家ではオリエンテーリングやうどん打ち、ナイトハイクなどを行い、五頭連峰少年自然の家ではキャンドルファイアや野外炊飯、ニジマスつかみ取りを行いました。2泊3日の間、みんな元気に活動していました。

☆参加者の声☆

- ・普段ゲームばかりで、自然とふれあうことが少なかったのでとてもいい経験ができました。
- ・初めて会った子が多かったけれどみんなと仲良くできてよかったです。みんな優しくてよかったです。



<はつらつ体験塾>

「はつらつ体験塾」には、学校や教室に行けなかったり、行きづらいと感じていたりする小・中学生が参加しています。参加した児童生徒の多くが、様々な活動に取り組む中で、心のエネルギーを蓄え、一歩前に踏み出すきっかけになっています。春から初夏にかけて実施した「第1回 はつらつ体験塾」では、次のような活動を行いました。

5月 日帰りミニキャンプ <米粉ピザづくり>



友達と一緒に生地をこねたり、具材を切ったりしました。みんなでおいしいピザができました。

6月 フレンドリーキャンプ <カヌー・海遊び>



力いっぱいパドルを漕いだり、貝殻を拾ったり、川や海での遊びを満喫しました。

7月 チャレンジキャンプ <テント泊>



自分が宿泊するテント設営にチャレンジしました。みんな、無事に設営することができました。

☆参加者の声☆

- ・いろいろなことにチャレンジして、できたことがたくさんあったのでうれしかったです。
- ・積極的に話しかけるようにしたら、友達をつくることができとてもうれしかったです。

<家族でカヌーに親しもう>

8月3日（土）、4日（日）の2日間、県内約120名が参加しました。川で家族とカヌーをするという非日常的な体験をとおして参加者のウェルビーイングに寄与することができました。



☆参加者の声☆

- ・素晴らしい体験だった。カヌーに対する苦手意識を克服し、ウォータースポーツへの関心をもてた。
- ・魚や緑を見ながら、目線低く進んでいくのが面白かった。風や緑を感じて気持ち良かった。
- ・ロングコースがリアルジャングルコースみたいで楽しかったです。
- ・川の上が涼しくて気持ちよく、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・家族で楽しい夏の思い出ができました。ありがとうございました。

<国際交流キャンプ>

10月5日（土）～6日（日）、県内の大学で学んでいる留学生と中・高校生が交流して、異文化の理解と柔軟な思考を身に付けることを目的に開催しました。今年度は、中・高校生32名と留学生12名が参加しました。1日目は、うどん打ち体験、キャンプファイアをしながら親睦を深めました。2日目の交流会では、中・高校生が住んでいる地域の有名なものや観光スポットなどを紹介しました。その後、留学生が母国の様々な文化（遊び、スポーツ、民芸品づくり等）を紹介し、中・高校生が体験しました。特に、自分の手を動かしながら作品などを作るコーナーは人気があり、たくさんの中・高校生が楽しそうに交流していました。



☆参加者の声☆

- ・他国の文化や新潟の他の地域について知ることができた。たくさんの人と関わってよい経験になった。（高校生）
- ・中・高校生の親切さを感じました。また、プレゼンテーションのスキルが高いと思いました。（留学生）

<一緒にお泊まりキャンプ in たいない>

第1回は10月26日（土）～27日（日）、第2回は11月2日（土）～3日（日・祝）に、幼児のお子さんがあるご家庭を対象としたキャンプを行いました。第1回は18家庭45名、第2回は18家庭39名が参加しました。自然体験活動をとおして家族の思い出をつくることと、家族同士の交流を目的としています。新潟中央短期大学の若井由梨先生による「親子であそぶ身体表現」で楽しく体を動かしたり、キャンプファイアやキャンドルファイアで幻想的な雰囲気の中でレクリエーションを楽しんだりしました。また、胎内フィッシングパークでは魚釣り、樽ヶ橋遊園では動物との触れ合いを楽しみました。命の尊さを改めて感じたお子さんもいたようです。お子さんの成長を感じ、ご家族からは喜びの声が聞かれました。



☆参加者の声☆

- ・釣れた魚と戯れた後、捌いているとき子どもが泣きました。命の大切さが伝わったと嬉しく思いました。
- ・良い天気楽しく過ごせました。スタッフの皆さんにも良くしていただき、良い思い出が作れました。

<自然の家でキャンプ>

第1回は5月3日（金・祝）～6日（月・振休）、第2回は10月12日（土）～14日（月・祝）、自然体験の良さを実感する機会を提供することを目的に、自然の家をキャンプサイトとして開放しました。「夜空がきれい」「自然で癒された」など自然の家で豊かな自然を満喫していただきました。

☆参加者の声☆

- ・自然の中でのんびりできました。隣との距離もありよかったです。
- ・星空がきれいでした。楽しかったです。また来たいです。

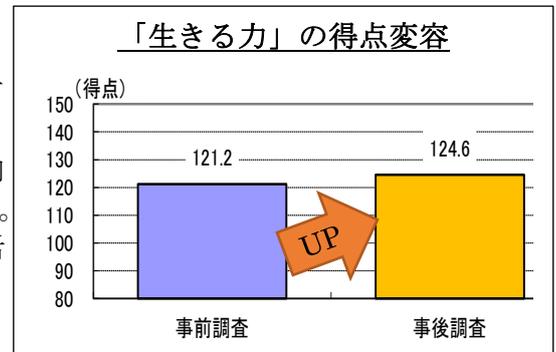


<IKR(生きる力)調査の結果>

今年度の5月～7月に、当自然の家を利用した村上市立小川小学校・新発田市立御免町小学校・新潟市立日和山小学校・新潟市立亀田東小学校の4校に協力いただき、自然体験教室の教育効果を測定しました。調査にはIKR 評定用紙(簡易版)を用いました。同調査は、自然体験教室の前後に28項目のアンケートを行い、心理的社会的能力、徳育的能力、身体的能力の3つの上位尺度と14の下位尺度の構成によって、「生きる力」の向上を測定するものです。

調査の結果、223人のデータから、右図のとおり、自然体験教室に参加することによって「生きる力」が有意に向上していることが分かりました(対応のあるt検定で $p=0.00$)。3つの上位尺度となる能力については、下図のとおり有意な向上が見られました(いずれも、対応のあるt検定で $p=0.00$)。

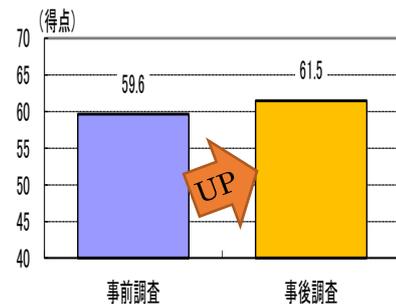
ただし、それぞれの学校ごとに、自然体験教室で行った活動や、活動を行った時期が異なることにはご注意ください。



心理的社会的能力の得点変容

(質問例)

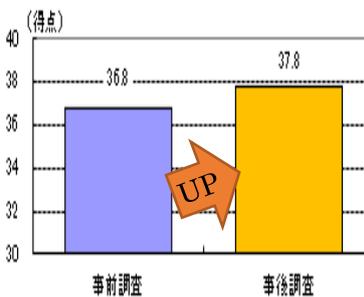
- 小さな失敗を恐れない
- 自分からすすんで何でもやる
- 自分のことが大好き



徳育的能力の得点変容

(質問例)

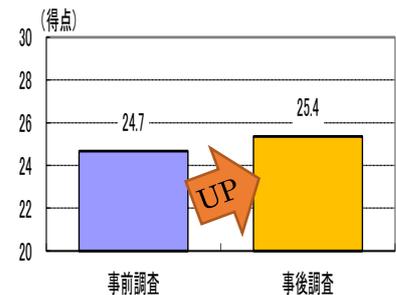
- 自分勝手なわがままを言わない
- 花や風景に感動できる
- いやがらずによく働く



身体的能力の得点変容

(質問例)

- 早寝早起きである
- 暑さや寒さに負けない
- 包丁などの刃物を上手く使える



レッツ エンジョイ！ おすすめウインタープログラム

カヌー活動終了後の10月～翌年3月までの期間、当所のプログラムを実施する場合は所員が指導いたします。HPに掲載されている「とらのまき」や動画等を参考に申込みいただきたいと思ひます。

エンジョイおすすめスノープログラム

- ☺ 美しい白銀のあかまつ林の中をスノーシューをして、心と体の健康づくりをしよう！
- ☺ しばふ広場や自然の家敷地内で行くつかの競技を合わせて雪遊び(雪上運動会等)はいかがでしょうか。
雪玉ころがしリレー、雪玉当てゲーム、宝探しゲーム、雪タワー作り(とらのまき参照)



【スノーシュー】



【雪遊び】

エンジョイおすすめプログラム

- ☺ **モルック**：北欧フィンランド発祥の最近人気のアウトドアスポーツ
- ☺ **館内フォトオリエンテーリング、館内チャレンジ**
- ☺ **インドアストレッチ**：チーム対抗ゲームで寒さを吹き飛ばそう



【モルック】

おすすめあったかグルメプログラム

- ☺ **ぼっぼ焼き**
- ☺ **うどん打ち**
- ☺ **米粉ピザづくり**
- ☺ **もちつき**

